

2018年時短アンケート兼生活実態・意識調査 アンケート設問

設問1 非公開

設問2 個人属性

- (1) 性別 ①男性 ②女性
- (2) 年齢 年齢を記入してください
- (3) 結婚の有無 ①未婚 ②既婚
- (4) 生計を共にしている家族の人数 本人を含めて記入してください
- (5) 生計を共にしている子どもの人数
子どものいない人は0を記入してください
- (6) (子どものいる人のみ) 生計を共にしている子どもの成長段階
(a) 長子の成長段階 (b) 末子の成長段階
- ①3歳以下 ②4歳～小学生未満
③小学生 ④中学生
⑤高校生 ⑥大学生 (各種学校含む)
⑦就職 ⑧その他
- (7) 住宅の種類 (単身赴任者は自宅の住宅の種類)
(持家があり、かつ社宅・借上げ社宅等に現在居住している方は⑤～⑧で回答してください)
- ①社宅 ②借上げ社宅・代用社宅
③賃貸住宅、借家 ④親元住居
⑤持ち家一戸建て(ローン返済済) ⑥持ち家一戸建て(ローン返済中)
⑦持ち家マンション(ローン返済済) ⑧持ち家マンション(ローン返済中)
⑨独身寮 ⑩作業所宿舍
⑪その他

設問3 勤務地の所在地

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 1 北海道 | 2 青森 | 3 岩手 | 4 秋田 | 5 山形 | 6 宮城 |
| 7 福島 | 8 群馬 | 9 栃木 | 10 茨城 | 11 東京 | 12 神奈川 |
| 13 千葉 | 14 埼玉 | 15 愛知 | 16 三重 | 17 岐阜 | 18 静岡 |
| 19 長野 | 20 山梨 | 21 新潟 | 22 富山 | 23 石川 | 24 福井 |
| 25 大阪 | 26 兵庫 | 27 京都 | 28 奈良 | 29 滋賀 | 30 和歌山 |
| 31 岡山 | 32 広島 | 33 山口 | 34 島根 | 35 鳥取 | 36 香川 |
| 37 愛媛 | 38 徳島 | 39 高知 | 40 福岡 | 41 佐賀 | 42 熊本 |
| 43 長崎 | 44 大分 | 45 宮崎 | 46 鹿児島 | 47 沖縄 | 48 海外 |

設問4 職種

- | | |
|-------------------|-------------|
| ①内勤建築系技術職 | ②内勤土木系技術職 |
| ③外勤建築系技術職 | ④外勤土木系技術職 |
| ⑤技術研究職 | ⑥内勤事務職 |
| ⑦外勤事務職（出張所、作業所勤務） | ⑧営業職（開発も含む） |
| ⑨内勤その他 | ⑩外勤その他 |

（職種で、①②と答えた方にお聞きします）

内勤技術系としての職種の細目（主な業務を1つ選択してください）

- | | | |
|-------------------|---------|--------|
| ①設計 | ②見積・積算 | ③設備 |
| ④技術提案 | ⑤現場技術支援 | ⑥工務等管理 |
| ⑦その他（内容を記入してください） | | |

設問5 職務（役職）

- ①部課長、営業所長・出張所長・作業所長（いずれも部課長待遇を含む）クラス
- ②係長、作業所副所長、主任等の次席クラス
- ③課員、係員等、特に役職のない方（現在OAオペレーター等をされている場合でも、資格上総合職・一般職に区分されている方を含みます）
- ④オペレーター等技能職の方
- ⑤その他

設問6 時間外手当

- | | |
|--------|---------|
| ①支給対象者 | ②支給非対象者 |
|--------|---------|

【家計】

設問7 あなたの2017年（1～12月）の税込年収はいくらですか

（新入社員の方は 収入なし を選んでください）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ①収入なし | ②300万円未満 |
| ③300万円以上～350万円未満 | ④350万円以上～400万円未満 |
| ⑤400万円以上～450万円未満 | ⑥450万円以上～500万円未満 |
| ⑦500万円以上～550万円未満 | ⑧550万円以上～600万円未満 |
| ⑨600万円以上～650万円未満 | ⑩650万円以上～700万円未満 |
| ⑪700万円以上～750万円未満 | ⑫750万円以上～800万円未満 |
| ⑬800万円以上～900万円未満 | ⑭900万円以上～1000万円未満 |
| ⑮1000万円以上～1100万円未満 | ⑯1100万円以上 |

設問8（既婚者の方）配偶者の就業形態について記入してください

- | | | |
|---------|------------|------------------|
| ①正社員 | ②派遣社員、契約社員 | ③フルタイムのパート・アルバイト |
| ④パートタイム | ⑤住宅ワーク・内職 | ⑥無職 |
| ⑦その他 | | |

設問9（既婚者の方）2017年（1～12月）の配偶者の税込年収はいくらですか

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ①収入なし（無職） | ②50万円未満 |
| ③50万円以上～100万円未満 | ④100万円以上～150万円未満 |
| ⑤150万円以上～200万円未満 | ⑥200万円以上～300万円未満 |
| ⑦300万円以上～400万円未満 | ⑧400万円以上～500万円未満 |
| ⑨500万円以上～600万円未満 | ⑩600万円以上～700万円未満 |
| ⑪700万円以上～800万円未満 | ⑫800万円以上～900万円未満 |
| ⑬900万円以上～1000万円未満 | ⑭1000万円以上～1100万円未満 |
| ⑮1100万円以上 | |

設問10（全員にお聞きします）あなたの家計の2017年（1～12月）税込年収（配偶者の年収含む）は、2016年（1～12月）と比較して増加しましたか、あるいは減少しましたか

- ①増加した
- ②減少した
- ③ほとんど変化はなかった

設問 1 1 一カ月あたりの支出はいくらですか（住宅、車の購入は除く）

（税込み総年収+その他の収入〔配偶者の収入も含む〕-1年間の貯蓄総額）÷12

- | | |
|-----------------|----------------|
| ①15万円未満 | ②15万円以上～20万円未満 |
| ③20万円以上～25万円未満 | ④25万円以上～30万円未満 |
| ⑤30万円以上～35万円未満 | ⑥35万円以上～40万円未満 |
| ⑦40万円以上～45万円未満 | ⑧45万円以上～50万円未満 |
| ⑨50万円以上～60万円未満 | ⑩60万円以上～70万円未満 |
| ⑪70万円以上～80万円未満 | ⑫80万円以上～90万円未満 |
| ⑬90万円以上～100万円未満 | ⑭100万円以上 |

設問 1 2（子どものいる人のみ）一カ月あたりの子どもの教育費はいくらですか

（授業料の年払い、半年払いなどは月払いにして、入学金を除いてください）

（学校の教育費だけではなく、塾や習い事の費用も入れて下さい）

- | | |
|--------------|--------------|
| ①1万円未満 | ②1万円以上～2万円未満 |
| ③2万円以上～3万円未満 | ④3万円以上～4万円未満 |
| ⑤4万円以上～5万円未満 | ⑥5万円以上～6万円未満 |
| ⑦6万円以上～7万円未満 | ⑧7万円以上～8万円未満 |
| ⑨8万円以上～9万円未満 | ⑩9万円以上 |

設問 1 3（全員にお聞きします）あなたの現在の暮らし(家計)はどうですか

- ①かなり余裕がある
- ②やや余裕がある
- ③収入と支出はトントンである(貯金はできないが、取り崩しもしない)
- ④やや苦しい
- ⑤かなり苦しい

【労働時間・休日】

設問 1 4 最近 1 ヶ月の平日の平均的な

- (a) 起床時刻
- (b) 自宅を出る時刻
- (c) 会社到着時刻
- (d) 退社時刻
- (e) 帰宅時刻
- (f) 就寝時刻

について24時間法でご記入ください

(午後6時⇒18:00 午前0時⇒0:00)

設問 1 5 11月 1 ヶ月間の実際の残業(所定外労働)時間についてお答えください

(a)(b)とも0時間の場合は0を、1時間未満は四捨五入して、時間単位で記入してください
(時間外手当の手当支給非対象者も記入してください)

- (a) 11月の実際の実際の残業時間

(休日出勤し、振休・代休を取得できなかった場合はその日の勤務時間を算入してください)

- (b) そのうち11月の平日の実際の残業時間

設問 1 6 非公開

設問 1 7 あなたの残業時間の目標値は設定されていますか

- ①36協定に準じて設定されている
- ②36協定とは別に会社で統一して設定されている
- ③部署や作業所など独自に設定されている
- ④何も設定されていない
- ⑤わからない

設問 1 8 あなたの11月1ヶ月の残業時間は1年前(2017年11月)と比べ増えましたか、減りましたか

- ①大幅に増えた ②少し増えた
- ③変わらない ④少し減った
- ⑤大幅に減った ⑥その他(わからない場合や前年と比べられない場合はここを選択してください)

設問 1 9 あなたの土曜日・日曜日・祝日の休日取得状況

(あてはまるものを①～④から選び、日ごとに答えてください)

- ①当日休んだ
- ②当日出勤したが、振休・代休を取得した
- ③当日出勤したが、振休・代休を取得していない
- ④制度上休みではない

11月

- (a)11月 3日 (第1土曜日) (文化の日)
- (b)11月 4日 (第1日曜日)
- (c)11月10日 (第2土曜日)
- (d)11月11日 (第2日曜日)
- (e)11月17日 (第3土曜日)
- (f)11月18日 (第3日曜日)
- (g)11月23日 (勤労感謝の日)
- (h)11月24日 (第4土曜日)
- (i)11月25日 (第4日曜日)

10月

- (j)10月 6日 (第1土曜日)
- (k)10月 7日 (第1日曜日)
- (l)10月 8日 (体育の日)
- (m)10月13日 (第2土曜日)
- (n)10月14日 (第2日曜日)
- (o)10月20日 (第3土曜日)
- (p)10月21日 (第3日曜日)
- (q)10月27日 (第4土曜日)
- (r)10月28日 (第4日曜日)

設問 2 0 2017年12月～2018年11月の年次有給休暇取得日数は何日でしたか

会社からの計画年休の日も含んでください

取得日数(0日の場合は0)を記入してください

設問 2 1 あなたが残業した主な理由を3つ選んでください

- ①日常の発注者むけ書類等の業務が多い
- ②本来、発注者側で行うべき資料作成等の業務が多い
- ③社内書類等の事務処理業務が多い
- ④緊急な仕事が多い
- ⑤(①～④以外の)仕事量が多く時間内に処理できない
- ⑥残業手当をあてにした生活設計になっている
- ⑦仕事の性格上、早出・残業する必要がある
- ⑧工程が厳しい
- ⑨職務を十分果たしたい
- ⑩外注業者・協力業者に管理能力がない
- ⑪周囲が残業しているので帰りづらい
- ⑫配置の人員が少ない
- ⑬総合評価方式による業務(技術支援等)が増えた
- ⑭その他(内容を記入してください)

設問 2 2 あなたが行っている残業時間について、どのように感じていますか、

主なものを2つ選んでください

- ①どのような理由があっても、早急な改善が必要
- ②自己の能力不足、または自己の能力の向上のため、納得している
- ③建設業の社会的使命や、与えられた仕事に責任を感じているため納得している
- ④建設業の社会的使命や、与えられた仕事に責任を感じているが苦痛である
- ⑤生活を犠牲にしているため苦痛である
- ⑥生活を犠牲にしているが、対価(残業手当)等もあり、納得している
- ⑦自己評価を上げるため仕方がない
- ⑧その他(内容を記入して下さい)

設問 2 3 会社からの残業時間削減指示で、あなたの実際の働き方に影響がありましたか、特に影響を感じたもの1つと、その他3つ以内で選んでください

- ① 残業手当等、賃金が減少して生活に余裕がなくなった
- ② 会社や上司からの仕事の状況を考慮しない時短の指示がある
- ③ 勤務時間を申告するうえでの自主規制の圧力がある
- ④ 早く帰るよう意識するようになった
- ⑤ 自分の技術力が低下するのではないかと危惧している
- ⑥ 部下や若手を早く帰らせるために自分が残業している
- ⑦ 夜に残業をしないために、朝早く来ている
- ⑧ 品質や安全がおろそかになった気がする
- ⑨ 今までの仕事内容や進め方を工夫するようになった
- ⑩ 仕事は終わらないので、サービス残業をしている
- ⑪ 持ち帰り残業をしている
- ⑫ 時短の強要で精神的にまいっている
- ⑬ もともと残業は少ないので特にならない
- ⑭ 残業は少なくなったが特にならない
- ⑮ 時短に向けた動きはない(会社からの残業時間削減の指示はない)
- ⑯ その他(内容を記入して下さい)

設問 2 4 あなたは自由な時間が増えたら何をしたいですか、休日と平日に分けて、それぞれ5つ以内で選んでください(休日と平日に同じ項目が入っても結構です)

(a) 休日 (b) 平日

- | | |
|----------------|----------------------|
| ① 家族と過ごす | ② 友人や恋人と過ごす |
| ③ 資格取得や自己研鑽に使う | ④ 趣味や自分の好きなことをする |
| ⑤ スポーツや身体を動かす | ⑥ テレビを見たり、パソコンや携帯を使う |
| ⑦ 家事をする | ⑧ ショッピングや外食をする |
| ⑨ 育児・介護をする | ⑩ 旅行に行く |
| ⑪ 地域や社会活動をする | ⑫ 婚活をする |
| ⑬ 副業をする | ⑭ 睡眠をとる |
| ⑮ 自宅でゆっくり過ごす | ⑯ その他(内容を記入して下さい) |

設問 2 5 建設産業全体で労働時間を短縮するためにはどうしたらよいか、主なものを3つ選んでください

- ① 経営者の意識改革
- ② 協力会社の育成・労務確保
- ③ 産業の社会的地位の向上
- ④ 建設産業に働く者の意識改革
- ⑤ 行政及び労使一体となった取り組み
- ⑥ 行政官庁の強力な指導
- ⑦ 発注者による適正工期の設定
- ⑧ 発注時期・しゅん功時期の平準化
- ⑨ 発注者・設計者の技術力の向上
- ⑩ 請負体質の改善
- ⑪ 受注競争の適正化による採算性の向上
- ⑫ 技能労働者の処遇改善
- ⑬ 法律等による社会的規制
- ⑭ 契約内容の明確化
- ⑮ その他(内容を記入して下さい)

【仕事上のストレス】

設問 2 6 仕事上であなたはストレスや不安を感じていますか

- ① 非常に感じている
- ② やや感じている
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり感じていない
- ⑤ 全く感じていない

設問 2 7 (設問26で①～④と回答された方にお聞きします) あなたが仕事上でストレスを感じる理由は何ですか、次の中から当てはまる番号を全て選んでください

- ①働く時間が長いから
- ②仕事量が多いから
- ③長い時間神経を集中するから
- ④拘束感があるから
- ⑤責任が重すぎるから
- ⑥能力が発揮できない、努力が報われないから
- ⑦仕事の裁量が限られているから
- ⑧ノルマや評価制度が厳しいから
- ⑨仕事の配分や待遇に不公平があるから
- ⑩職場や仕事の将来が不安だから
- ⑪ハラスメントがあるから
- ⑫上司や同僚などとの人間関係がよくないから
- ⑬クレームなど職場外から無理難題を押し付けられるから
- ⑭孤立を感じたり、相談相手がいないから
- ⑮作業環境や休憩室等が不十分だから
- ⑯仕事内容や人員の構成がめまぐるしく変わるから
- ⑰仕事が自分に合っていないから
- ⑱仕事と家庭の両立が困難だから
- ⑲なんとなく
- ⑳その他 (内容を記入してください)

設問 2 8 以下の質問は、あなたの現在の職業に関するものです。各文が、どの程度あなたの状況にあてはまるか、該当する番号を選んでください。すべての質問に答えてくださるようお願いいたします

	全く違う	違う	その通りだ	全くその通りだ
(1) 仕事の負担が重く、常に時間に追われている	1	2	3	4
(2) 邪魔が入って中断させられることの多い仕事だ	1	2	3	4
(3) 過去数年、だんだん仕事の負担が増えてきた	1	2	3	4
(4) 私は上司、もしくはそれに該当する人から、ふさわしい評価をうけている	1	2	3	4
(5) 昇進の見込みは少ない	1	2	3	4
(6) 職場で、好ましくない変化を経験している。もしくは今後そういう状況が起こりうる	1	2	3	4
(7) 失職の恐れがある	1	2	3	4
(8) 自分の努力と成果をすべて考えあわせると、私は仕事上ふさわしい評価と人望を受けている	1	2	3	4
(9) 自分の努力と成果をすべて考えあわせると、私の仕事の将来の見通しは適当だ	1	2	3	4
(10) 自分の努力と成果をすべて考えあわせると、私のサラリー/収入は適当だ	1	2	3	4

【仕事と生活の充実度】

設問 2 9 あなたの今の仕事・生活は、充実していますか

(a) 仕事 (b) 生活

- ①非常に充実している
- ②まあ充実している
- ③あまり充実していない
- ④まったく充実していない

設問30 (全員にお聞きします) 仕事で満足していないものを3つ以内で選んでください

- ①労働時間が長く、休日が少ない
- ②賃金が低い
- ③人事・評価制度に不満がある
- ④人間関係に不満がある
- ⑤仕事の内容が自分に合っていない
- ⑥仕事上の責任が重すぎる
- ⑦勤務地が自分の希望に合っていない
- ⑧業界・企業の体質が古い
- ⑨企業の将来性に不安がある
- ⑩不満はない
- ⑪その他(内容を記入してください)

設問31 (全員にお聞きします) 生活で満足していないものを3つ以内で選んでください

- ①自分の時間が持てない
- ②自分の健康に対する不安
- ③生活費が足りない
- ④育児・教育に対する不安
- ⑤介護に対する不安
- ⑥居住スペースが狭い
- ⑦通勤時間が長い
- ⑧退職後の生活費が足りない
- ⑨転勤等により生活の拠点が定まらない
- ⑩家族間の人間関係
- ⑪地域社会の人間関係
- ⑫婚活ができない(異性との出会いがない)
- ⑬不満はない
- ⑭その他(内容を記入してください)

【単身赴任】

設問32 (既婚者の方全員にお聞きします) 単身赴任の有無

- ①単身赴任をしている(管外)
- ②単身赴任をしている(管内)
- ③単身赴任をしていない

※管内：同一支社店内管轄だが自宅から通勤が出来ないことによる

設問33 (既婚者の方全員にお聞きします) 単身赴任に関して心配・不満なことは何ですか、3つ以内で選んでください

- ①二重生活によって生活費が増加する
- ②帰宅するための十分な手当がでない
- ③帰宅する時間的ゆとりがない
- ④家族とのコミュニケーションが減る
- ⑤健康管理がおろそかになる
- ⑥帰宅旅費支給による年収増に伴って税金の負担が増える
- ⑦配偶者の仕事に影響が出る
- ⑧家族の育児・介護等の負担が大きい
- ⑨自宅にいる家族の安全が気がかり
- ⑩子どもの進学相談等がおろそかになる
- ⑪特に問題ない
- ⑫その他(内容を記入してください)

設問34 (設問32で①②を回答された方にお聞きします) 1ヶ月あたりの帰宅回数についてお尋ねします

(1) 希望の帰宅回数

- ①0回
- ②1回
- ③2回
- ④3回
- ⑤4回
- ⑥5回以上

(2) 現実の帰宅回数

- ①0回
- ②1回
- ③2回
- ④3回
- ⑤4回
- ⑥5回以上

(3) 現実の帰宅回数のうち、自己負担での帰宅回数

- ①0回
- ②1回
- ③2回
- ④3回
- ⑤4回
- ⑥5回以上

設問 3 5 (設問32で①②を回答された方にお聞きします) 二重生活による経済負担増は月額
いくらぐらいですか(個人で支払う帰宅旅費を含める)

- | | |
|--------------|---------------|
| ①ほとんど変わらない | ②2万円未満 |
| ③2万円以上～3万円未満 | ④3万円以上～4万円未満 |
| ⑤4万円以上～5万円未満 | ⑥5万円以上～6万円未満 |
| ⑦6万円以上～8万円未満 | ⑧8万円以上～10万円未満 |
| ⑨10万円以上 | |

【働き方】

設問 3 6 (全員にお聞きします) あなたは女性が仕事を続けることと結婚・出産との関連について、
どれが適当だと考えますか、理想と現実(現実になりそうと思われるもの)とに分けてお答
えください

(a) 理想 (b) 現実(現実になりそうなもの)

- ①結婚・出産などにかかわらず、働き続ける
- ②結婚・出産などにかかわらず、適当な時期に仕事を辞める
- ③出産を機に一度退職し、子育てに手がかからなくなったら再び働く
- ④出産を機に家庭に入る
- ⑤結婚を機に家庭に入る
- ⑥その他(内容を記入してください)

設問 3 7 共働きをしながら育児をしていくためには、企業内福祉制度や環境整備の面で
どんなことが必要だと思いますか、5つ以内で選んでください

- ①育児休業期間の延長
- ②育児休業中の経済的給付
- ③育児のための短時間勤務
- ④一日の労働時間の短縮
- ⑤残業・休日出勤の規制
- ⑥子どもの病気などの看護休暇の新設、日数増加
- ⑦フレックスタイム制の導入
- ⑧一時的な就労形態の変更
- ⑨年休取得の柔軟化(半日や時間単位の取得)
- ⑩一定期間の配属地域の考慮
- ⑪社内イントラネットに育休取得者及び予定者の情報交換などができる場の設置
- ⑫保育所の整備・充実
- ⑬学童保育の整備・充実
- ⑭育児にかかる費用(ベビーシッター費など)に対する援助
- ⑮職場復帰時のフォロー体制(研修・教育・面談など)の確立
- ⑯男性も育児のための制度を取得できるような雰囲気づくり
- ⑰育児期間中の職場の上司や同僚の理解
- ⑱その他(内容を記入してください)

設問 3 8 (全員にお聞きします) あなたには介護が必要な家族がいますか

- ①現在介護中(主たる介護者として)
- ②現在介護中(主たる介護者としては介護していない)
- ③近い将来(5年以内)に介護が必要になりそう
- ④当面先(5年以上先)だが、介護は必要になりそう
- ⑤いない

設問 3 9 (設問38で①～④と回答された方にお聞きします) 現在すでに介護を必要とする家族が
いたり、今後介護を必要とする家族が現れた場合、介護休業を取得できると思いますか

- ①取得できる、取得した
 - ②取得できない
 - ③分からない
- 上記を選んだ理由を記入してください

設問40 (全員にお聞きします) 介護をしつつ、安心して働き続けるためにはどのような施策が必要だと思いますか、主なものを3つ以内で選んでください

- ①介護休業・介護休暇を取得しやすい職場環境の整備
- ②介護休業(93日)・休暇(5日)の日数拡大
- ③介護短時間勤務制度の導入、整備
- ④在宅介護サービスの充実や介護施設の整備
- ⑤介護費用の公的扶助の充実等、経済的負担の軽減
- ⑥介護休業中の賃金保障
- ⑦地域や家族による理解・支援
- ⑧企業内における介護の相談窓口の設置等の支援
- ⑨家族介護者同士の交流やカウンセリングなどの充実
- ⑩今のままで十分働き続けられる
- ⑪分からない・考えたことがない
- ⑫その他 (内容を記入してください)

【建設産業に対する魅力他】

設問41 (a) あなたは現在の建設産業に魅力を感じていますか

- ①大いに魅力を感じる
- ②まあ魅力を感じる
- ③あまり魅力を感じない
- ④まったく魅力を感じない

(b) 魅力の感じ方は以前と変わりましたか、また変わった方はどうして変わったのか記入してください

- ①変わっていない
- ②「魅力を感じる」から「魅力を感じない」に変わった
- ③「魅力を感じない」から「魅力を感じる」に変わった
変わった理由を記入してください

設問42 (設問41(a)に①②と答えた方にお聞きします) どのような点に魅力を感じますか、特に感じる理由を1つと、その他2つ感じる理由を選んでください

- ①個人に任せられる仕事の幅が広い
- ②産業に将来性がある
- ③活力のある産業である
- ④全般的に労働条件が良い
- ⑤仕事に安定性がある
- ⑥創造する喜びがある
- ⑦産業の社会的役割に誇りを感じる
- ⑧建設したものが後世に残る
- ⑨多くの人と共同して仕事をする喜びがある
- ⑩自分の能力が生かせる
- ⑪その他 (内容を記入してください)

設問43 (設問41(a)に③④と答えた方にお聞きします) 建設業に魅力を感じない理由は何ですか、特に感じない理由を1つと、その他2つ感じない理由を選んでください

- ①前近代的な体質が残っている
- ②賃金水準が低い
- ③人事諸制度(人事考課、職制・職格制度等)が不十分
- ④労働時間(所定内・外)が長い
- ⑤福利厚生面での待遇が悪い
- ⑥受注時の不透明さ等、建設業における商慣習が不明瞭
- ⑦建設業の請負体質(対発注者)
- ⑧「横並び」「横睨み」意識が強すぎ、企業の独自性が出にくい
- ⑨男女不平等
- ⑩建設産業の社会に対する貢献度に対して、社会的な評価が低い
- ⑪業務上災害が多い等、危険が多い
- ⑫産業の将来像がない
- ⑬転勤・異動が多い
- ⑭その他(内容を記入してください)
前近代的な体質の具体例を記入してください

設問 4 4 (全員にお聞きします) あなたは今の会社でいつまで働こうと考えていますか

- ①定年まで働きたい
- ②転職を考えたことがある
- ③今後、転職を考えている
- ④今すぐ転職したい

設問 4 5 作業所における週休 2 日(原則、土曜閉所)はいつごろ実現すると思いますか、
また、そう思う理由を記入してください

- ①2020年(東京五輪)
 - ②2022年(日建連が目標とする期限)
 - ③2024年(労働時間の罰則付き上限規制が建設産業に適用)
 - ④2030年(規制の適用から数年~数十年後)
 - ⑤実現しない
- 理由を記入してください

【自由筆記欄】

設問 4 6 時短、生活実態などなんでも結構です、今感じていることをご記入ください

【作業所関係】

※この設問より下は、作業所勤務の方がお答えください

(現在異動中の方は、直近の作業所についてお答えください)

(複数の作業所勤務の方は、主な勤務先の状況についてお答えください)

設問 4 7 作業所の形態

- ①単独
- ②JVの幹事会社
- ③JVの構成会社
- ④下請け
- ⑤その他

設問 4 8 作業所の配員人数(派遣を含む)(JV作業の場合は全員)は何人ですか

(対象者がいない場合は0を記入して下さい)

(a)技術系職員 (b)事務系職員

設問 4 9 発注者

- ①国土交通省(旧建設省系)
- ②国土交通省(旧運輸省系)
- ③農林水産省
- ④①②③以外の中央官庁
- ⑤JRTT ※JRTTとは:(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(略称:鉄道・運輸機構)
- ⑥⑤以外の独立行政法人
- ⑦都道府県
- ⑧政令指定都市
- ⑨その他地方公共団体
- ⑩民間公益企業(道路)
- ⑪民間公益企業(鉄道)
- ⑫民間公益企業(電力、ガス、通信等)
- ⑬民間マンション関連のディベロッパー
- ⑭その他民間企業
- ⑮個人

設問 5 0 作業所工事分類

- ①建築工事
- ②土木工事
- ④建築(鉄道線閉)工事
- ④土木(鉄道線閉)工事
- ⑤建築リニューアル工事
- ⑥土木リニューアル工事
- ⑦その他

設問5 1 あなたの作業所の休日設定を選んでください

(a) 受注時 (b) 現在の工程表上

- | | |
|------------------|--------|
| ①4週8閉所 (完全週休2日制) | ②4週7閉所 |
| ③4週6閉所 | ④4週5閉所 |
| ⑤4週4閉所 | ⑥4週3閉所 |
| ⑦4週2閉所 | ⑧4週1閉所 |
| ⑨4週0閉所 | ⑩その他 |

設問5 2 あなたの勤務する作業所の完全閉所状況

(完全閉所・・・宿・日直以外の職員が出勤した場合は閉所とみなさない)

a～rの各休日における完全閉所状況について

①閉所した ②閉所していない でお答えください。

11月

- (a) 11月 3日 (第1土曜日) (文化の日)
- (b) 11月 4日 (第1日曜日)
- (c) 11月10日 (第2土曜日)
- (d) 11月11日 (第2日曜日)
- (e) 11月17日 (第3土曜日)
- (f) 11月18日 (第3日曜日)
- (g) 11月23日 (勤労感謝の日)
- (h) 11月24日 (第4土曜日)
- (i) 11月25日 (第4日曜日)

10月

- (j) 10月 6日 (第1土曜日)
- (k) 10月 7日 (第1日曜日)
- (l) 10月 8日 (体育の日)
- (m) 10月13日 (第2土曜日)
- (n) 10月14日 (第2日曜日)
- (o) 10月20日 (第3土曜日)
- (p) 10月21日 (第3日曜日)
- (q) 10月27日 (第4土曜日)
- (r) 10月28日 (第4日曜日)

設問5 3 あなたはどうすれば土曜閉所を増やせると思いますか、3つ以内で選んでください

- ①土曜閉所ができるような人員配置
- ②法的・社会的な土曜日の工事規制
- ③発注者の理解
- ④計画表の作成や工程管理による計画的な実施
- ⑤会社からの指導、上司の意識改革
- ⑥自己の意識改革
- ⑦工程の余裕
- ⑧労使委員会等による労使の協力体制の確立
- ⑨業務の効率化
- ⑩技能労働者の月給制確立
- ⑪協力業者との打合せ協力
- ⑫その他 (内容を記入してください)

設問5 4 土曜閉所を増やしていく上で問題となるのは何ですか、特に問題となるものを1つと、その他2つ以内で選んでください

- ①短工期発注による工程の厳しさ
- ②発注者の対応が遅いことによる工程上の遅れ
- ③突発事態 (天候等) で工程調整ができなくなる
- ④工程上は問題ないが、土曜作業を行って工程上の余裕を作りたいこと
- ⑤土曜閉所する事による経費の増大
- ⑥予定外・緊急の作業の発生
- ⑦発注者・ユーザーへの対応
- ⑧上司・職員の閉所に対する意識の低さ
- ⑨技能労働者が休みたがらないこと (作業員日給制の問題を含む)
- ⑩土曜日でないと技能労働者が集まらないこと
- ⑪発注者・元発注者の理解
- ⑫気象上の制約 (冬季降雪対応等)
- ⑬施工上の制約 (施設休業日にしか作業できない等)
- ⑭許認可上、土・日(夜間)作業になること
- ⑮交替で職員は休んでいるので土曜閉所する必要を感じない
- ⑯その他 (内容を記入してください)

設問 5 5 (2017年12月～2018年11月までに作業所を異動された方にお聞きします)
2017年12月～2018年11月の作業所の異動時に土日祝日を含まず何日休みましたか
(振替休日、代休、有給休暇、特別休暇いずれでもよい)
取得日数(0日の場合は0)を記入してください

設問 5 6 (全員にお聞きします) 異動時休暇が取得しにくい理由は何ですか、
2つ以内で選んでください

- ①異動日の直前の異動命令
- ②引継ぎ資料の整理や後片付けに時間がかかるから
- ③次の現場に監理技術者で名前を登録されるから
- ④交代する人との赴任間隔が長くなるから
- ⑤みんなに迷惑がかかると思う
- ⑥職場の雰囲気取得しづらい
- ⑦上司がいい顔をしない
- ⑧異動時休暇制度がない
- ⑨異動時休暇があるのを知らない
- ⑩異動時休暇を取得するのを感じない
- ⑪異動時休暇は取得しやすい
- ⑫その他 (内容を記入してください)

設問 5 7 (全員にお聞きします) 異動時休暇の取得に必要なものは何だと思えますか、
2つ以内で選んでください

- ①比較的工期に余裕があること
- ②会社の強力な指導
- ③早い段階での異動辞令
- ④作業所長の意識
- ⑤本人の強い意思
- ⑥明確なルールや制度
- ⑦取得しやすい職場の雰囲気
- ⑧交代要員の早期赴任
- ⑨余裕を持った人員配置
- ⑩その他(内容を記入してください)